



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6396 URL <http://www.unozawa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇野澤 虎雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田村 博 (TEL) 03-3759-4191
 兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,898	6.8	△22	—	△24	—	37	—
25年3月期第2四半期	1,776	△14.9	△87	—	△76	—	△103	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	3.39		—					
25年3月期第2四半期	△9.30		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,328	1,497	23.7
25年3月期	6,402	1,419	22.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,497百万円 25年3月期 1,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	—	—

平成26年3月期の配当額については未定です。配当予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,860	11.4	20	—	10	—	60	—	5.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期2Q	11,200,000株	25年3月期	11,200,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	22,479株	25年3月期	21,760株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	11,177,673株	25年3月期2Q	11,178,410株
----------	-------------	----------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在の将来に対する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
5. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による金融・経済対策を背景に、株価の上昇など景気回復に向けた兆しが見られるものの、個人所得や雇用状況、設備投資などの実体経済に大きな改善は見られず、先行き不透明な状況で推移しました。

当社の属する機械器具製造業においては、企業業績が回復傾向にありながらも、国内設備投資については依然として慎重であり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社の当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,898百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

損益面におきましては、営業損失22百万円(前年同期は営業損失87百万円)、経常損失24百万円(前年同期は経常損失76百万円)、四半期純利益37百万円(前年同期は四半期純損失103百万円)となりました。

セグメント別に示しますと、製造事業では売上高は1,636百万円(前年同期比7.6%増)でセグメント損失213百万円(前年同期はセグメント損失270百万円)の結果となりました。製品別では、液晶表示製造装置用真空ポンプの回復が続いたことから真空ポンプの売上高は922百万円(前年同期比42.8%増)、中国向けの大型輸出案件があったものの前年同期の震災復興需要の反落や価格競争激化等の影響により送風機・圧縮機の売上高は228百万円(前年同期比39.3%減)、部品および修理の売上高は477百万円(前年同期比0.3%増)、脱気装置等のその他製品の売上高は7百万円(前年同期比66.1%減)となりました。

また、輸出関係におきましては、北米および中国向けが伸長し、輸出売上高は428百万円(前年同期比31.0%増)となりました。

不動産事業におきましては、オフィスビル賃貸市場の底打ちとフリーレント期間の終了により、売上高は262百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益190百万円(前年同期比4.2%増)の計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は74百万円減少し6,328百万円、負債は152百万円減少し4,831百万円、純資産は78百万円増加し1,497百万円となりました。総資産の減少は、現金及び預金が136百万円増加しましたが、たな卸資産が82百万円、投資その他の資産が88百万円減少したこと等が主な要因です。

負債の減少は、支払手形及び買掛金が56百万円、長期借入金が42百万円減少したのが主な要因です。

純資産の増加は、利益剰余金が37百万円、その他有価証券評価差額金が40百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前事業年度末比1.5%上昇し、23.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より136百万円増加し、1,460百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は31百万円の増加(前年同期は66百万円の増加)となりました。主な要因は、税引前四半期純利益43百万円、減価償却費64百万円、たな卸資産の減少82百万円、保険解約返戻金67百万円、仕入債務の減少56百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は179百万円の増加(前年同期は5百万円の減少)となりました。主な要因は保険積立金の解約による収入206百万円、有形固定資産の取得による支出17百万円、預り保証金の返還・受入による純支出15百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は74百万円の減少(前年同期は40百万円の減少)となりました。主な要因は、長期借入金の返済・収入による純支出78百万円です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月30日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は売上が直近2事業年度において著しく減少し、2期連続の営業損失、純損失を計上いたしました。当第2四半期累計期間において、前年同期比増収、損益面でも改善をみたものの営業損失・経常損失の計上となり、引き続き、継続企業の前提に関する注記を開示するには至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況の存在を認識しております。

当社はこうした状況を解消するため、経営環境の変化に対応できる企業体質の変革が急務であることを踏まえ、(1)売上増強(2)生産工程の構造改革(3)固定費の削減を三本柱とし、当面の具体策としては次の課題に取り組んでまいります。

- ① きめ細かい顧客管理・案件管理により受注及び売上確保に努めます。
- ② 利益率の高い修理・補修部門を強化します。
- ③ アジア中心に現地パートナー企業との連携を強化し海外部門を強化します。
- ④ OEM供給を含め国内企業との連携により受注確保・用途開発を進めます。
- ⑤ 顧客ニーズ・市場ニーズを先取りした新製品の開発を推進します。
- ⑥ 自動機械の有効活用や工数削減、多能工化推進により生産効率の向上に努めます。
- ⑦ 生産管理の徹底により、当社が基本としている受注生産のメリットを生かし、製品・仕掛品・部品の在庫削減を進めます。
- ⑧ 品質管理を徹底し信頼される製品づくりに努め、顧客の信頼を得るとともに不具合やクレームによるロスの最小化に努めます。
- ⑨ 役員報酬及び部長職賃金の削減の他、業務見直しによる残業削減により人件費削減をはじめ、経費全般の徹底的な削減に努めます。
- ⑩ 人事制度の改革を進め、人材育成・活性化を図り、生産性の高い職場を目指します。

以上の施策の徹底により収益力の回復に努めること、また事業活動を継続していく上で財務状況は安定していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

なお、将来に関する事項に関しては、当四半期会計期間の末日現在において判断したものです。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,324,077	1,460,569
受取手形及び売掛金	1,312,624	1,321,535
たな卸資産	675,868	593,560
その他	20,223	26,414
流動資産合計	3,332,793	3,402,079
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,595,701	1,553,117
土地	631,643	631,643
その他（純額）	92,531	80,647
有形固定資産合計	2,319,876	2,265,407
無形固定資産	6,786	6,119
投資その他の資産		
その他	752,654	664,449
貸倒引当金	△9,204	△9,155
投資その他の資産合計	743,450	655,294
固定資産合計	3,070,112	2,926,820
資産合計	6,402,905	6,328,900
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	684,738	628,713
短期借入金	1,089,678	1,058,167
未払法人税等	9,695	11,463
賞与引当金	58,116	59,133
その他	197,811	165,612
流動負債合計	2,040,039	1,923,090
固定負債		
長期借入金	2,020,324	1,977,352
退職給付引当金	436,450	433,564
役員退職慰労引当金	110,267	114,340
その他	376,436	382,963
固定負債合計	2,943,479	2,908,219
負債合計	4,983,519	4,831,309

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	149,969	187,830
自己株式	△6,912	△7,051
株主資本合計	1,231,988	1,269,709
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	187,398	227,880
評価・換算差額等合計	187,398	227,880
純資産合計	1,419,386	1,497,590
負債純資産合計	6,402,905	6,328,900

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,776,835	1,898,307
売上原価	1,569,521	1,633,622
売上総利益	207,313	264,685
販売費及び一般管理費	295,290	287,143
営業損失(△)	△87,976	△22,457
営業外収益		
受取利息	671	512
受取配当金	2,939	3,257
償却債権取立益	13,062	—
その他	23,192	18,918
営業外収益合計	39,865	22,687
営業外費用		
支払利息	23,083	23,127
その他	4,946	1,309
営業外費用合計	28,029	24,436
経常損失(△)	△76,140	△24,206
特別利益		
保険解約返戻金	—	67,456
固定資産売却益	—	1,242
特別利益合計	—	68,699
特別損失		
固定資産除却損	11	884
特別損失合計	11	884
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△76,152	43,607
法人税等	27,838	5,746
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△103,990	37,861

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△76,152	43,607
減価償却費	73,691	64,855
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△48	△48
賞与引当金の増減額 (△は減少)	459	1,017
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,028	△2,886
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△20,962	4,072
受取利息及び受取配当金	△3,610	△3,769
支払利息	23,083	23,127
固定資産除却損	11	884
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,242
保険解約返戻金	—	△67,456
売上債権の増減額 (△は増加)	256,701	△8,911
たな卸資産の増減額 (△は増加)	52,608	82,307
その他の資産の増減額 (△は増加)	△5,450	2,826
仕入債務の増減額 (△は減少)	△204,384	△56,024
その他の負債の増減額 (△は減少)	△15,345	△24,266
小計	87,629	58,092
利息及び配当金の受取額	3,649	3,828
利息の支払額	△23,063	△25,840
法人税等の支払額	△2,618	△5,029
法人税等の還付額	983	434
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,580	31,484
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,153	△17,807
有形固定資産の売却による収入	—	1,430
貸付金の回収による収入	5,552	7,924
預り保証金の返還による支出	△10,507	△17,354
預り保証金の受入による収入	5,486	1,534
保険積立金の解約による収入	—	206,919
その他	5,120	△3,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,503	179,638
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,000	4,000
長期借入れによる収入	743,400	395,000
長期借入金の返済による支出	△773,796	△473,483
自己株式の取得による支出	△15	△139
配当金の支払額	△22,102	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,513	△74,630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,563	136,492

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び現金同等物の期首残高	1,306,826	1,324,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,327,390	1,460,569

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,520,515	256,319	1,776,835
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,520,515	256,319	1,776,835
セグメント利益又は損失(△)	△270,872	182,896	△87,976

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業損失)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,636,081	262,226	1,898,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,636,081	262,226	1,898,307
セグメント利益又は損失(△)	△213,070	190,612	△22,457

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業損失)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

製造事業	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで		当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで		対前期比増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	増減率%
製品別						
真空ポンプ	646,003	36.4	922,532	48.6	276,529	42.8
送風機・圧縮機	376,929	21.2	228,737	12.0	△148,191	△39.3
部品及び修理	476,338	26.8	477,601	25.2	1,262	0.3
その他	21,244	1.2	7,210	0.4	△14,034	△66.1
製造事業計 内(輸出品)	1,520,515 (327,278)	85.6 ※(18.4)	1,636,081 (428,659)	86.2 ※(22.6)	115,565 (101,380)	7.6 (31.0)
不動産事業	256,319	14.4	262,226	13.8	5,906	2.3
合計	1,776,835	100.0	1,898,307	100.0	121,472	6.8

(注) ※の輸出品構成比率は売上高合計に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製造事業	受注高			受注残高		
	前第2四半期	当第2四半期	対前期比増減	前第2四半期	当第2四半期	対前期比増減
製品別						
真空ポンプ	644,835	824,516	179,681	365,705	359,730	△5,974
送風機・圧縮機	285,719	203,753	△81,965	232,812	189,067	△43,745
部品及び修理	475,294	531,838	56,544	99,464	121,176	21,711
その他	59,714	19,990	△39,724	43,922	13,780	△30,142
合計	1,465,563	1,580,098	114,535	741,905	683,754	△58,150